

授業科目名	障がい者スポーツ論		授業形態	講義		授業科目区分	専門科目 (基礎科目B)		
担当教員名	赤嶺 卓哉・前田 究					補助担当者名			
単位数	2 単位		履修年次	3年次		受け入れ人数	50名		
授業の概要	日本の身体障がい者(身障者)数は、総人口の約2%を占めており、近年、身障者スポーツは非常に盛んに行われつつある。本授業では、車椅子スポーツの医・科学的研究成果、水泳と障がい者との関係、パラリンピックなどの国際大会、知的発達障がい者のスポーツなどについて概説する。身体障がい者スポーツの現状と問題点、身障者と健常者の望ましい相互関係について考察し、身障者への接遇態度などが身につくことを期待する。この授業は、「障がい者スポーツ」についての学習を通じて、本学の教育目標における「国民各層の体育・健康づくりを指導・普及させるような能力」を身に付ける科目です。								
授業の到達目標及び成績評価の方法	授業の到達目標			成績評価の方法					
	■認知的領域	身体障がい者スポーツの概要、対象障がい(脊椎損傷など)の病態について理解できる。車椅子スポーツの医・科学的研究成果を概説し、新たな解決方法を提案して課題を整理する。	授業期間				定期試験	その他	割合%
			授業	テスト	レポート	発表			
	■情意的領域	知的発達障がい者のスポーツについても理解し、意欲的に身障者スポーツへと取り組むことができる。身障者スポーツの現状と問題点、障がい者と健常者の望ましい相互関係について、興味・関心を持ち、それらの課題について主体的に取り組む。	○					○ (口頭試験)	50
□技能的領域									
成績評価の基準	レポートが提出されているという条件で、授業期間に行った口頭試験(小テスト)、出席状況・授業意欲、レポートの各得点などを合計し、60点以上のものを合格とする。								
テキスト、教材参考書	参考書…「車椅子マラソン-医・科学的研究と実践指導-」(赤嶺卓哉・前田究著、不味堂出版、初版、1997、@2,200円+税) 障害者とスポーツ(高橋明著 岩波新書 ¥700円) 必要とする参考資料は適時紹介、資料は配付する。								
履修条件・関連科目	アスレチックリハビリテーション論・実習、スポーツ医学を履修していることが好ましい。		備考(教員メッセージ含む)		レポートの提出(数回程度)が必要。とくに真剣な受講態度を重視する。				
オフィス・アワー	赤嶺：火曜日 11時40分～12時40分 研究棟4階 408研究室(要予約) 前田：月曜日～金曜日 8時30分～17時00分 鹿児島県身体障害者福祉協会 099-228-6271								
授業計画									
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	赤嶺 卓哉	身体障がいとは、身体障がい者(身障者)スポーツの医・科学的知識			身障者スポーツについての予習・復習				
2	〃	車椅子マラソン・スポーツの医・科学的知識①			車椅子マラソン・スポーツについての予習・復習				
3	〃	車椅子マラソン・スポーツの医・科学的知識②			車椅子マラソン・スポーツについての予習・復習				
4	〃	車椅子バスケットボールの実践的指導			車椅子競技等の予習・復習				
5	〃	車椅子バスケットボールの医・科学的知識			車椅子競技についての予習・復習				
6	〃	車椅子スポーツの医・科学的知識			車椅子スポーツについての予習・復習・レポート				
7	前田 究	障がい者スポーツの動機づけ			障がい当事者にとってのスポーツのあり方についての予習・復習				
8	〃	障がい者スポーツの意義と理念			パラリンピックなどの国際大会についての予習・復習				
9	〃	障がい者スポーツとクラス分け			全国障害者スポーツ大会などの国内大会についての予習・復習				
10	〃	障がいに応じたスポーツの工夫・実施			障がいに応じた配慮や工夫についての予習・復習				
11	〃	視覚・聴覚障がい者とスポーツ			視覚・聴覚障がい者のスポーツ活動についての予習・復習				
12	〃	知的障がい者とスポーツ			知的障がい者のスポーツ活動についての予習・復習				
13	〃	精神障がい者とスポーツ			精神障がい者のスポーツ活動についての予習・復習				
14	〃	障がい者スポーツと安全管理			障がい者スポーツにおける安全管理のあり方についての予習・復習・レポート				
15	赤嶺 卓哉	本授業のまとめ			本授業の総括				